

1 感染状況について

【国内の感染状況】

令和2年1月に日本で1例目となる感染者が確認されて以降、国内での感染が拡大しており、令和3年7月29日現在で、感染者数は892,293例、死亡者は15,160人、また入院治療等を要する者は47,991人、退院又は療養解除となった者は827,372人となっている。

【福岡市における感染状況】

福岡市においては、令和2年2月20日に市内で初めて2名の感染者が確認。
令和3年7月29日現在で18,377人※の陽性者数が確認されている。

▼福岡市内の発生状況(R3.7.29現在)

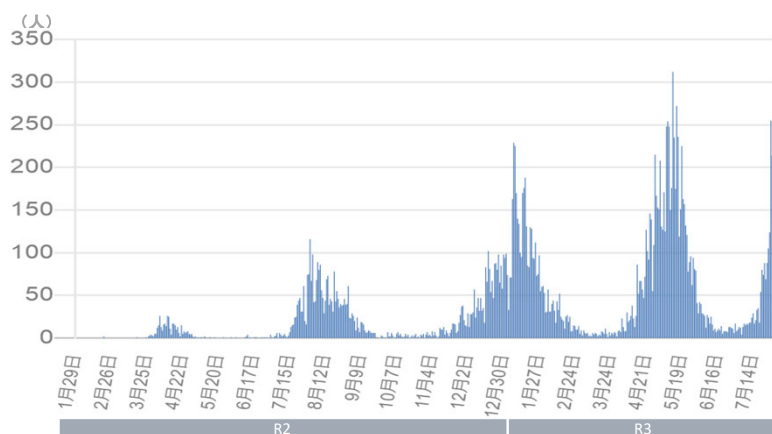
陽性者数 (累積)	入院等	死亡	退院等
18377人 ※	1135人	189人	17053人 ※

※船内陽性者5名を除く

▼福岡市内に適用された緊急事態宣言・まん延防止等重点措置

期間	日数	内容
R2.4.7～5.14	38日間	緊急事態宣言
R3.1.14～2.28	46日間	緊急事態宣言
R3.5.12～6.20	40日間	緊急事態宣言
R3.6.21～7.11	21日間	まん延防止等重点措置
R3.8.2～8.31	30日間	まん延防止等重点措置

▼福岡市内の新規陽性者数の推移(R3.7.29現在)



2 支援策について

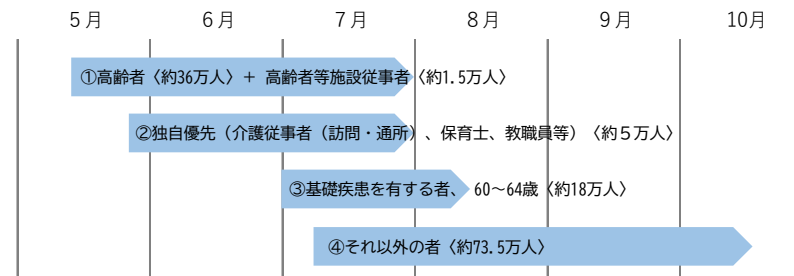
・福岡県の緊急事態措置等に協力し、休業要請等の実効性をより高め、感染拡大防止を強力に推し進めること、また、緊急事態宣言等の期間中においても、市民生活に必要なサービスを安全に提供する施設や最前線で働いている方々に対する支援を目的として、国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」等を踏まえながら、これまで様々な支援策を実施。

・令和3年度においても、検査・医療提供体制の充実や市民生活・経済活動の支援など、引き続き感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けた取組みを推進していく。

3 ワクチン接種への対応について(R3.7.25現在)

新型コロナウイルスワクチン接種について、希望する全ての方々が安心して接種できるように下記のとおり取り組んでいる。

【接種順位及びスケジュール】



【接種の状況】

接種方法	接種場所
個別接種	クリニック(約800か所)
集団接種	マリンメッセ福岡B館(～6月末) 中央ふ頭クルーズセンター(6月21日～) 各区会場(6月下旬～)
出張接種	高齢者入所施設等(約500か所)

※希望される高齢者へのワクチン接種については7月末で完了

【迅速かつ円滑なワクチン接種に向けた取組み】

(1)マリンメッセ福岡B館及びクルーズセンター会場の開設

・マリンメッセ福岡B館(5月13日～6月末)及び中央ふ頭クルーズセンター(6月21日～)を集団接種会場として開設し、高齢者をはじめ、教職員など独自優先者への接種を進めるとともに、7月以降は一般の方への接種も開始

(2)各区集団接種会場の開設・一部前倒し及び開設時間の延長

・7月に開設を予定していた各区集団接種会場について、接種の迅速化を図るため、一部を前倒しして6月下旬から順次開設
・ももち体育館及び中央体育館については、5時間延長し、22時まで運営
※ももち体育館の時間延長は7月末で終了

(3)24時間対応可能な接種体制の確保

・様々なライフスタイルの市民が接種を迅速に受けられるよう、24時間対応可能な接種体制を確保(7月20日から市民病院での22時～翌8時までの深夜接種を開始)

(4)集団接種会場への無料シャトルバスの運行

・マリンメッセ福岡B館及び中央ふ頭クルーズセンターへの移動に係る利便性を確保するため、無料シャトルバスを運行

(5)独自優先接種

・訪問・通所介護従事者、保育園・幼稚園の職員、留守家庭子ども会の職員、学校の教職員、災害支援等従事者、さらに公共交通機関の乗務員等や、中洲地区の接待を伴う飲食店にお勤めの方を対象に、独自優先接種を実施